

横浜市福祉用具貸与サービス適正利用のための計画点検事業の実施について

1 事業の趣旨

介護保険サービスを高齢者の自立支援を図ることに配慮したものとするよう、地域の特性に応じた様々な取組を進めていくことが求められています。

本市では、福祉用具貸与サービスについて、事業所が適切なアセスメントを行い、自立支援を目的としたサービスや適正なサービスの提供が行われているかを、福祉用具貸与計画に基づき理学療法士が点検する事業を実施することとしました。

これにより、市内事業所がリハビリ専門職と連携して、利用者の能力を引き出すケアを行えるようになり、福祉用具サービスのより適正な実施に資することを目指します。

2 事業の実施状況

(1) Session1 キックオフミーティング～機能向上に向けた移動系福祉用具の活用～



【写真1 市概要説明】



【写真2 神奈川県理学療法士会講師による講演】

ア 日時・場所

令和元年5月20日（水） ウィリング上大岡

イ 内容

- (ア) 本事業の概要説明
- (イ) 移動系福祉用具導入のポイント
- (ウ) 機能向上と適正性の視点について

ウ 参加事業所・人数

福祉用具貸与事業所 101（市内全 146 事業所中）

総勢 189 人

【参加者内訳】

福祉用具事業所関係者 125 人

介護支援専門員等 44 人

理学療法士 20 人

エ アンケートによる主な意見

- 自立支援に向けた目標、身体状況を踏まえた福祉用具の選定及びその選定における評価の重要性を再認識した。
- (福祉用具専門相談員は) どの職種よりもチーム連携が必要だと思う。まずは密接な関係を築くために理学療法士との話し合いが必要と感じた。

(2) Session2 点検

ア 日時・場所

令和元年8月～令和2年3月 各市内福祉用具事業所

イ 対象

- (ア) 応募により選定された事業所
- (イ) 市により選定された事業所

ウ 点検対象事業所数

25 事業所 (3プラン/事業所)

エ 内容

神奈川県理学療法士会の理学療法士が、福祉用具事業所を訪問し、福祉用具貸与計画を点検して、計画の評価及び助言を行います。

オ 評価の視点

- (ア) 自立支援 (既存能力・潜在能力を引き出すこと) を目的としているか
- (イ) 適正なサービスか (不要なものでないか)

(3) Session3 点検結果共有ミーティング

ア 日時・場所

令和2年2月 市内会場予定 (定員 300 人予定)

イ 対象事業所数

- (ア) 福祉用具貸与事業所
146 事業所 (市内全事業所)
- (イ) 居宅介護支援事業所
約 150 事業所

ウ 内容

点検によって明らかになった福祉用具サービスの現状をもとに、点検結果の報告と来年度の点検方針の提供を行います。